

横浜ランドマークタワー ドックヤードガーデン(国指定重要文化財)に 公民連携による新しい創造的な活動拠点が誕生します。

～活動拠点の事業者として株式会社リビタを選定／6月開業予定～



横浜市、公益財団法人横浜市芸術文化振興財団（以下、「財団」といいます。）、三菱地所株式会社は、みなとみらい21地区の創造的活動の発信、定着に向け、協働で取り組みを進めます。

民間事業者が保有する歴史的建造物を公的主体が借り受け、文化芸術創造都市・横浜へ寄与する拠点を整備すること、あわせて関係団体が協議会を設置し活用事業者の運営をサポートすることにより「公民連携」で創造的活動を推進する事例は、横浜市内で初めてであり、全国的にも特色のあるものです。

活用事業者の活動が、みなとみらい21地区を中心とした街へ拡がることを期待するとともに、横浜市が推進する創造都市施策のさらなる展開をはかるべく支援してまいります。

1 横浜ランドマークタワー ドックヤードガーデンを活用した創造的な活動拠点の開設

財団は、三菱地所株式会社が保有するドックヤードガーデン（西区みなとみらい二丁目2番1号地下1階 面積：817.50㎡）を借り受け、活用事業者による新たな創造的活動を生み出します。このたび、活用事業者として、みなとみらいにおける様々なコミュニティの活動を創造する「大人の部活」をコンセプトとする提案のあった株式会社リビタと契約しました。

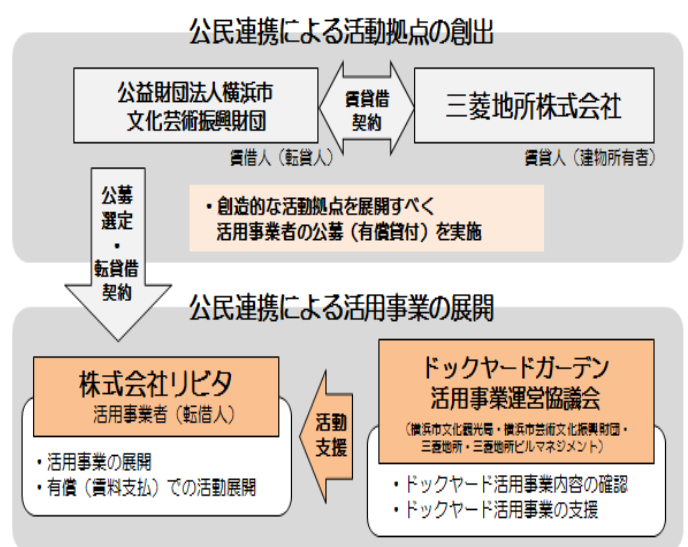
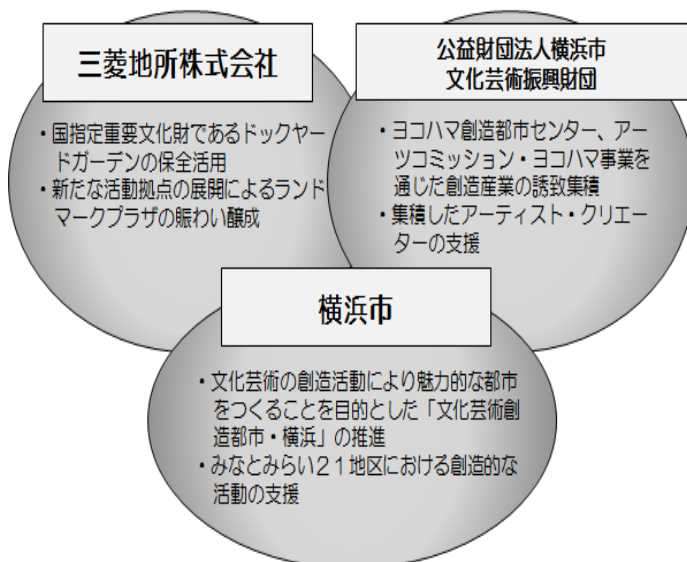
2 市、財団、三菱地所株式会社等による協議会の組織化

事業の展開にあたり、横浜市、財団、三菱地所株式会社、及び三菱地所ビルマネジメント株式会社（ビル運営管理会社）は、「ドックヤードガーデン活用事業運営協議会」を設立し、活用事業の運営を支援します。

◆ドックヤードガーデン活用事業の事業スキーム概要

・公民連携における各社の役割

・公民連携による活動拠点の創出・活用事業の展開



【参考】

参考1 事業概要スケジュール等

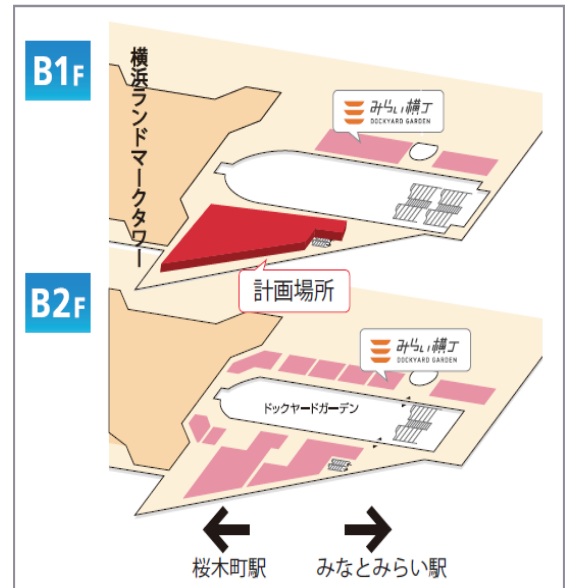
◆事業コンセプト：大人の部活が生まれる、これからの街のサードプレイス

◆事業概要：本施設は、みなとみらいのオフィスワーカーや居住者、横浜のクリエイターが集い、組織や肩書を超えた活動コミュニティ＝「部活」が生まれる新しい形のシェアスペースです。

シェアキッチンやスタジオ等の自由活動空間を中心に、部室やワークラウンジを備え、気軽に立ち寄ることができるコーヒースタンドも併設。さらには交流や「部活」が生まれるきっかけとなる講座やワークショップも定期的を開催予定です。

◆活動開始日：平成26年6月（予定）※詳しい事業内容は、株式会社リビタより後日発表いたします

画像はイメージです



参考2 株式会社リビタ社概要

「リノベーションで暮らしをかえる」をテーマに、既存建物の改修・再生を手がける会社として設立。リノベーション分譲事業やリノベーションコンサルティング事業のほか、シェア型賃貸住宅の企画、運営、PM・サブリース事業を手がけ、現在リビタ社が運営するシェア型賃貸住宅「シェアプレイス」シリーズは、都内近郊に13棟835室。商業・オフィス・住宅からなる原宿神宮前のシェア型複合施設「THE SHARE」、UR団地を再生した多世代交流・地域連携が盛んなシェア型賃貸住宅「りえんと多摩平」、印刷工場をオフィス商業複合施設にコンバージョンした港区海岸「TABLOID」など、エポックメイキングなプロジェクトの企画・プロデュース・運営を多数手がける。

名称：株式会社リビタ 代表取締役：南 佳孝（東京都渋谷区渋谷2-16-1） 設立：2005年

URL：www.rebita.co.jp

【添付】2013年9月9日 財団記者発表資料

「ドックヤードガーデン（国指定重要文化財）の商業ゾーンに創造的な活動拠点を開設するため、活用事業者を公募します。」